



特集1

未来をきりひらこう! 始動

かわさきGIGAスクール構想

かわさきGIGA
スクール構想

GIGAスクール構想とは?

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、1人1台分のコンピュータ端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する取組です。令和元年12月に文部科学省より打ち出されました。

かわさきGIGAスクール構想では…

かわさきGIGAスクール構想では、個別学習、協働学習、一斉学習のどの学びにおいてもクラウドを利用し、学びを蓄積し、双方向の学びを可能にすることによって、かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」「共生・協働」を実現していきます。



小・中学校

※特別支援学級含

Chromebook



特別支援学校

※小学部・中学部

iPad



1人1台コンピュータ端末で学習するにあたり…

川崎市では、セキュリティに十分に配慮したうえで、子どもたち一人ひとりにコンピュータ端末を使用する際の学習専用のアカウント (IDとパスワード) を中学校卒業まで貸与します。また、授業で活用する際

には情報モラルについて引き続き指導するとともに、学習指導要領に学習の基盤として示されている「情報活用能力」の育成にも力を入れていきます。

紹介動画をぜひご視聴ください

Googleが提供する「Google for Education パートナー自治体プログラム」に参画し、事例紹介動画を作成いたしました。動画では、令和2年度にコンピュータ端末を先行導入した旭町小学校、南河原中学校への取材の他、市長、教育長、先生方に

対しインタビューを実施し、学校教育が大きく変容していくことへの思いや期待などをまとめた内容となっています。市ホームページから見るることができます。ぜひご視聴ください。



動画はこちら!



かわさきGIGAスクール構想について聞きました!

教育委員会 小田嶋満教育長



川崎市の教育は、他者の思いに触れて自分の考えに取り入れれたり、様々な考えを認め合ったりすることを通して、多様な「つながり」の中での学びを積み重ねることを大切にしてきました。1人1台分のコンピュータ端末の導入により、様々な活動において子どもたちが、それぞれの思いや考えを交流し合い、「つながる」場面がさらに増え、学びがより豊かになります。子どもたちの「知りたい」「表現したい」「伝えたい」という思いを実現する「かわさきGIGAスクール構想」を推進していきます。

旭町小学校 青木あゆ子校長

コンピュータ端末の導入によって、子どもたち一人ひとりの「よさ」を足し合わせ、よりよいものを作り上げていくという学習スタイルを目指していきます。自分の考えや思い、得た情報を、コンピュータ端末を使って即時に共有することを通してみんなで解決していく力を育むことができます。自ら進んで学びを深める経験を積み重ね、明るい未来に向かって歩んでほしいと願っています。



旭町小学校 上原優果教諭

コンピュータ端末は子どもたちの興味・関心を引き出すためのツールとなっています。コンピュータ端末上で自分たちの意見がすぐに反映される特性をいかして、考えや思いを共有し、みんなで「つながる」学習場面を多く設定していくように心がけています。



旭町小学校の子どもたち

コンピュータ端末を通して、調べた情報を友達と画面を見ながら話し合うこともできます。これからのようなことができるかワクワクします。

持ち運びがしやすいのでいろいろな場所で学習ができます。



未来社会の
創り手を
育む

インターネットはつながることで可能となる **学び** // いろいろな学びが **広がる** //

学びの多様性が今ここに!

キーワードは
つながる

かわさきGIGA
スクール構想

富士見台小学校

つなげて深める学習の実践

八ヶ岳自然教室が目前にせまった富士見台小学校5年生は、社会科の学習で友達のを考えをつなげながら「八ヶ岳の気候と地形の特徴の関係を調べたい」という課題をもちました。「検索サイトでこんな情報を見つけたよ」「ジャムボードにまとめよう」「みんなでプレゼンテーションのスライドを作ろう」と子どもたちは情報収集したことを、コンピュータ端末を通して友達と話し合っ、考えを広げ、深める学習となりました。



菅生中学校

オンラインを活用した授業

菅生中学校では、GIGAスクールの学習環境を生かし、全校集会や保護者説明会等でのオンラインの利用を積極的に進めています。体育祭の実施に合わせて全学年で取り組んだ熱中症予防の授業では、オンラインで企業の講師とやりとりし、双方向のオンラインの特徴を生かした臨場感ある授業が行われました。オンラインでの学習等も含め、コンピュータ端末を生かした多様な学びに日々取り組んでいます。



王禅寺中央小学校

GIGAスクールサポーターによる支援

コンピュータ端末の操作に迷ったり、入力に困ったりした時に支援を行う「GIGAスクールサポーター」が小学校・中学校・特別支援学校を訪問します。王禅寺中央小学校1年生の教室では、子どもたちから「どこを押すの?」「違ふところを押してしまった…」という声にサポーターが対応しました。担任の先生の話をよく聞き、キーボードに貼られたシールの色を手立てに、順番に気を付けてパスワード入力ことができました。「できたよ」と笑顔いっぱいのお話になりました。



中央支援学校

研修を通してよりよい活用の方法を学ぶ

児童生徒が授業でコンピュータ端末をよりよく活用できるようにするために、先生方がクラスルームの活用の仕方など、iPadの基本的な操作を研修しました。「子どもたちとこんなことがしたい」「学校でこんなことができるのでは…」と、一つひとつの実践が大きな夢につながるという思いを参加した先生方が共有することができました。





心と心をつなぐ

かわさき共生*共育プログラム

川崎市では平成22年度から、市内全小・中学校にて(特別支援学校・高等学校は実態に応じて)「かわさき共生*共育プログラム」を実施しています。

「かわさき共生*共育プログラム」ってなに？

川崎市では平成22年度から、全市立小・中学校にて(特別支援学校・高等学校は実態に応じて)「かわさき共生*共育プログラム」を実施しています。

プログラムは、人間関係づくりのスキルを身に付けるための「エクササイズ」と、児童生徒の理解を図り日常の指導にいかすための「効果測定アンケート」で構成されています。

2つの取組を連動させながら行うことで、子どもたちの社会性の育成や集団の望ましい人間関係づくりを進めます。

「かわさき共生*共育プログラム」は今年度で12年目を迎えました。コロナ禍において、「かわさき共生*共育プログラム」を通じた、人間関係づくりのスキルの育成が、ますます重要なものとなっています。

目指すもの

「かわさき共生*共育プログラム」では、小中高の連続した学びの中でお互いを認め合うことができる「社会性」を育み、「いじめ」「不登校」などを生まない学級・学校づくりを目指しています。



学校の取組を紹介します！

大師小学校

豊かな人間関係づくりを目指して

コロナ禍だからこそ、児童が人間関係づくりのスキルを学び、自ら豊かな人間関係を築く力を育てたいと願い、様々な工夫を凝らして実践しました。特に「仲間づくり」をねらいとしたエクササイズを計画し、学校全体で取り組みました。

実際のエクササイズでは、マスクで友だちの表情が読み取りづらい中でも、身振り手振りを交えて思いを伝え、互いの考えを認め合う様子が見られました。

児童の感想では、友だちからの温かい言葉に思いやりを感じるなど、喜ぶ声が寄せられました。



長沢中学校

協し合い認め合える人間関係づくりを目指して

一斉校後の生徒の不安な気持ちをはぐし、安心した学校生活を送ることができるよう効果測定とエクササイズを計画的に行い、学校全体での共通理解を深めながら実践しました。

特に、効果測定アンケートを見取り、温かい雰囲気づくりを意識したエクササイズを多く取り入れました。

先生からは、効果測定アンケートをすることで、生徒の感じていることをより深く理解することができ、指導に生かすことができたという言葉を聞くことができました。



川崎高等学校(全日制)

こころ豊かな人材の育成を目指して

生徒が自律的に望ましい人間関係を構築できるよう、効果測定アンケートから生徒の様子について共有を図り、エクササイズを行いました。さらに、エクササイズで体験したことが体育祭や文化祭など、他の教育活動にもつながるよう、関連させながら計画的に実践しました。

総合的な学習の時間では、「かわさき共生*共育プログラム」で身に付けた力を生かし、地域の方とコミュニケーションをとることで、地域の一員としての自覚を促すことができました。



新しい取組がスタートしています！

コンピュータ端末で「効果測定アンケート」ができるようになりました

今年度からコンピュータ端末が導入されたことにより、児童生徒の学びが大きく変わろうとしています。「かわさき共生*共育プログラム」においては、Googleフォームを活用して「効果測定アンケート」を実施することができるようになりました。これにより、児童生徒が回答する際、アンケート用紙に鉛筆で記入する方法だけでなく、画面をタッチする方法も選ぶことができるようになりました。

実際に「効果測定アンケート」でコンピュータ端末を活用

用した南河原中学校では、コンピュータ端末の使い方を確認しながら、真剣な表情でアンケートに取り組む様子が見られました。

生徒からは「画面をタッチするだけだったので回答しやすかった」などの感想が寄せられました。また、画面表示を他言語表記に切り替えることができるので「かわさき共生*共育プログラム」が、児童生徒にとっても、先生にとっても、より取り組みやすくなり、効果的に実施できるよう工夫を重ねて実践しています。



生徒一人ひとりがじっくりと自分と向き合って回答しています。



コンピュータ端末の使い方を教え合いながら取り組んでいます。

家庭や地域でできる「ショートエクササイズ」を紹介します！

児童生徒が体験している「ショートエクササイズ」は、学校だけでなく家庭や地域でも楽しめるものです。お店の待ち時間、町内会の集まり等、様々な場面で体験してみてください。

リラックス・親近感を高める「ハッピーセブン」

【行い方】

- ① 2~3人で「ハッピーセブン!」と言いながらじゃんけんのように指を出します。指0(グー)は0、指1(チヨキ)は2、指3は3、指4は4、指5(パー)は5
- ② 互いが出した数の合計が7になったら成功です。

ある日... お店に入るまで随分待ちそう... そんなときは... **ハッピーセブン!** 1回目... 5 + 2 = 8 2回目... 0 + 7 = 7 成功!

みんなで気持ちをそろえて協力するって楽しいね!

※外出の際には、マスクの着用をお願いします。表情が伝わりやすくなる為、マスクをしていないイラストにしています。

お問合せは 教育政策室(政策推進) TEL 044-200-3068 FAX 044-200-3950

かわさき 特集3 パラムーブメント!

かわさきパラムーブメントとは?

川崎市では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催をきっかけに、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくために市民の皆さんと一緒に取り組む運動「かわさきパラムーブメント」を平成28(2016)年度から推進しています。

パラリンピックを象徴する多様性(ダイバーシティ)と、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)という観点に基づいて、バリアを取り除き、また新しい技術をもって課題に取り組みながら、誰もが社会の一員として参加できる環境を創り出すことが「かわさきパラムーブメント」の理念です。学校では、かわさきパラムーブメントの取組により未来へ遺していくレガシーの一つである「多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち」を目指して、様々な教育である活動を展開しています。

めざせ! やさしき日本代表!

みんなの思いを繋げるチーム。
障がい、年齢、人種やLGBT
いっしょに多様性をプラスしよう。
川崎らしく、力強く、
未来を変えていく力は
私たちの中にある。



東柿生小学校の取組を紹介します!

昨年度、東柿生小学校4年生は「総合的な学習の時間」で、かわさきパラムーブメントについて知ることを通じ、自分たちができることを整理・分析しました。さらに、行動化し実践できるよう学習に取り組んだところだ。

9月11日には、パラリンピック車いすバスケットボール男子元日本代表の方々とオンラインでつながり、お話を聞きました。また、パラムーブメントを広めるために、9月29日には「バラスポーツやってみるキャラバン」での車いすバスケットボール、11月6日にはボッチャと、様々な体験をしながら情報を収集しました。

障がいのある方々との関わりを通じ、多様性について学びを深めた子どもたちは、かわさきパラムーブメントの取組の一つである「かってにおもてなし

大作戦」の一環として、12月21日に地域の人々へ発信し、取組を披露しました。

児童の感想

まず自分がパラムーブメントの活動をすれば東柿生小が優しさあふれる学校になる。そして、それを川崎市全体に広めつなげていきたい。



オリンピック・パラリンピック推進室のお仕事

オリンピック・パラリンピック推進室の主な仕事としては、①かわさきパラムーブメントに関すること②英国事前キャンプに関すること③オリンピック・パラリンピックの推進に関することなどです。これまで、学校と連携して、総合的な学習の時間の支援、かってにおもてなし大作戦、英国応援給食などに取り組んできました。いよいよ大会開催の年となり、皆さんとさらにムーブメントを大きくしていきたいと思います。この大会をきっかけに、2024年の市制100周年とその先を見据え、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指すまちづくりに取り組んでいくことに誇りを感じながら仕事をしています。

めざせ! やさしき日本代表!
パラムーブメントの取組を進め、
がんばっています!!



お問い合わせは 〇リンピック・パラリンピック推進室
TEL 044-200-0809 FAX 044-200-3599

2019年8月撮影

SDGsで未来を変えよう!

特集4

SDGsって?

SDGsは「持続可能な開発目標」といって、国連で決められた世界共通の目標のことです。

地球温暖化や格差、貧困など世界規模でも私たちの住む町でも、このまま放っておけないたくさ

んの問題があります。これから先もこの地球で暮らしていくために、そして、誰一人取り残さず全ての人にとってよりよい世界にするために、世界中の人が、ゴールの達成に向けて動き出しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



KAWASAKI オリジナルの SDGsのロゴが できたよ!



SDGsをたくさんの人に知ってもらうために、川崎市オリジナルのロゴマークを作りました。川崎市から、SDGsのゴール達成に向けたムーブメントを起こしていこう!



KAWASAKI SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



SDGsに取り組んでいる
東小倉小学校と柘形中学校のみなさん
※撮影のためマスクを外しています。

川崎市SDGs登録・認証制度

「かわさきSDGsパートナー」 がスタートしました!

川崎市内でSDGsに取り組む企業や法人、NPO、市民団体、学校などを、川崎市が登録・認証する制度がスタートしました。



応募対象

川崎市内で事業活動している企業等

SDGsの達成に向けた取組を通じて、持続可能な経営・運営への転換、新たなビジネスチャンスや金融機関からの支援につなげたい方など

川崎市内で活動をしている組織等 法人・NPO・市民団体・教育・研究機関等

SDGsの達成に向けた活動をみんなに知ってもらいたい、他の団体や企業の取組を知りたい、つながりたい方など

応募は登録、認証の2段階

まずは、SDGsの達成に向けて取り組むことを意志表示(宣言)する「登録」と、さらにSDGsへの取組を自己評価して今後に向けた目標設定をする「認証」

の2段階があります。3月に行われた第1回目の応募で、74の「かわさきSDGsパートナー」と、89の「かわさきSDGsゴールドパートナー」が誕生しました。



- パートナー・ゴールドパートナーになっている学校もたくさん!
- かわさきSDGsパートナー
藤崎小・新町小・東住吉小・大谷戸小・子母口小・坂戸小・下作延小・梶ヶ谷小・上作延小・久地小・鷺沼小・富士見台小・白糠台小・長尾小・片平小・樹形中・川崎高校・幸高校
 - かわさきSDGsゴールドパートナー
旭町小・栗小倉小・平間小・稀生小

次回の教育だよりでは、ゴールドパートナーになっている企業や団体が、どんなふうにSDGsに取り組んでいるのか紹介します。

川崎市SDGsプラットフォーム

かわさきSDGsパートナー・ ゴールドパートナーの交流の場



川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」のご案内

かわさきSDGsパートナー、ゴールドパートナーになると「川崎市SDGsプラットフォーム」に参加できます。

プラットフォームでは、SDGsに関する勉強会や、パートナー・ゴールドパートナーの交流会の開催、

特に素晴らしい企業・団体を表彰する「川崎SDGs大賞」の開催など色々な形で、パートナー、ゴールドパートナーの皆さんを応援して、みんなで一緒に、川崎市のSDGsの活動を盛り上げていきます。



お問い合わせは 総務企画局企画調整課 ☎TEL 044-200-0374

令和3年度第1回総合教育会議を開催します

- 日時 令和3年8月4日(水) 15時~16時30分(開場14時30分)
- 会場 川崎市役所第3庁舎 18階講堂
- 傍聴 当日先着30名まで ※手話通訳あり
※会議内容はインターネットでの動画配信を予定しています。



動画配信はこちら

お問い合わせは 総務企画局企画調整課 ☎TEL 044-200-2027



Vol.1
新型コロナウイルスから感染を予防するために正しい過ごし方をしよう。

右と左でまちがいがつああるよさがしててね!





ピックアップ



宇宙も緑も市民とともに!! かわさき宇宙と緑の科学館は開館50周年



かわさき宇宙と緑の科学館は1971年、「川崎の子どもたち
に美しい星空を体験してもらい、科学への関心を高めてもらいたい」という強い思いから、プラネタリウム館として開館
しました。
1983年には、自然に関する展示や実験室、天体観測室な

どを備えた本館展示室がオープン、2012年にはリニューアル
オープンをしました。
2020年までに約400万人、学校での利用だけでも約130万
人の来場者!今学生の皆さんも、昔川崎市の学校に通っていた
皆さんも、科学館に訪れたことがあるのではないのでしょうか。

50周年記念イベント開催中!

プラネタリウムフュージョン投影

開催中! 新番組 「過去と未来への旅」

かわさき宇宙と緑の科学館のために開発されたプラネタリウム
投影機「メガスターⅢフュージョン」の機能を最大限に生かし、
宇宙の誕生から終わるまでを見つめる迫力ある番組を楽し
めます。



写真で歴史を振り返ろう!

開催中! 8月29日(日)まで 記念写真展

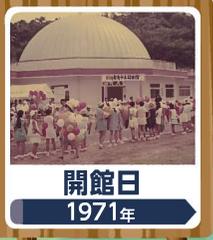
昭和から令和へ、50年間の科学館の歩みを写真でご紹介し
ます。皆様のお思い出の科学館を是非見つけに来てください。



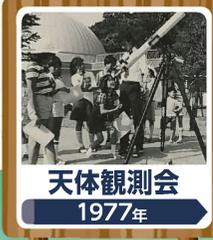
かわさき宇宙と 緑の科学館の歴史



建造中
1971年



開館日
1971年



天体観測会
1977年



プラネタリウム投影
1980年



本館展示室完成
1983年



天体観測会
2000年



リニューアル
オープン
2015年



天体観測会
2017年



D51形蒸気機関車
川崎市地域文化財に決定
2020年



魅力がいっぱいプラネタリウムとアストロテラス

プラネタリウム

世界に1台だけの、特別な
プラネタリウム投影機「メガ
スターⅢフュージョン」が映
し出す星々で、まるで本物の
夜空を眺めているような体
験ができます。
毎月変わるオリジナル投
影番組は、50年前から続く
「生解説」。解説者の個性も
見どころです。



アストロテラス

昼間の太陽観察、夜間の
天体観測会「星を見るタペ」
が開催される屋根付きの天
体観測スペースです。
大きな望遠鏡を使って、遠
くの様々な天体を観測する
感動を体験できます。



※プラネタリウム投影時間、ア
ストロテラスの開放時間等は科学
館ホームページをご覧ください。

企画展 川崎の生きもの

「川崎の生きもの」の発売を記念して、
川崎市の動植物をパネルや標本でご紹介します!



期間 7/27(火)~8/22(日)
時間 9:30~17:00
料金 観覧無料



科学館開館・アクセス情報

- 入場料 / 無料 (プラネタリウムは有料)
- 開館時間 / 9:30~17:00
- 休館日 / 毎週月曜日 (祝祭日の場合は開館、翌火曜日は休館)
- アクセス / 電車をご利用の場合小田急線「向ヶ丘遊園」駅南口から徒歩約15分・JR南武線「登戸」駅から徒歩約25分
- 電話番号 / 044-922-4731 ● FAX / 044-934-8659
- 住所 / 〒214-0032 川崎市多摩区樹形7-1-2

お問合せは かわさき宇宙と緑の科学館

HP <https://www.nature-kawasaki.jp/>





お知らせ



坂本九さんの生誕80周年を記念した取組を川崎フロンターレと連携して行いました

坂本九さんは「上を向いて歩こう」や「明日があるさ」など数多くのヒット曲をだしたほか、タレントとして、テレビ番組の司会や映画、舞台でも活躍しました。また、手話を広げる運動など福祉関係の活動にも積極的に参加をしていました。そのような多方面に活躍していた坂本九さん

は、川崎市出身（川崎小学校卒業）であり、今年が生誕80周年にあたる年になります。そのような節目の年に川崎フロンターレと本市が協働して、魅力あるまちづくりに活かすため、記念プロジェクトを実施しました。プロジェクトの一部である学校に関する取組を紹介します。



掛け算の九九が楽しく覚えられる下敷き「坂本九九シート」を川崎フロンターレから寄贈を受けました。



川崎小学校では、給食の時間に坂本九さんの動画を流し、生前好きだったと言われている、カレーライスを食べました。子どもたちにとって坂本九さんを知る、良いきっかけとなりました。



坂本九さんご坂本九音楽事務所

お問い合わせは 教育政策室(企画担当) ☎044-200-3244



この機会に一緒に考えてみませんか!?

10月24日は川崎市長選挙

選挙管理委員会では、生徒会役員選挙での投票箱などの貸出しや、模擬投票・出前講座を実施するなど、政治や選挙に関心を持っていただけるよう取組を進めています。10月24日には「川崎市長選挙」があります。ご家庭でも自分たちを取り巻く地域社会や、政治、選挙について一緒に考えてみましょう。

お問い合わせは 選挙管理委員会事務局選挙課 ☎044-200-3427

選挙マスコット「イクッン」



映像制作の講師を派遣します!

小学生(高学年)・中学生・高校生向けに映像制作のサポートをしています!

「映像で伝えたい」「映像ってどうやって作るの?」

「映像のまち・かわさき」推進フォーラムでは、皆さまの映像づくりをサポートします!企画から編集までをプロの講師にしっかりと教わるパターンや、半日~1日で映像づくりを体験するパターンなど、ご要望にお応えします。学校の授業や寺子屋、PTA、子ども会などで伝えたいものが伝わる映像づくりを学びませんか?お気軽にご相談ください!

お問い合わせは 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム ☎044-223-6550 ✉mail_eizo@eizonomachi.com



撮影授業



導入授業

作品の講評



学校ふるさと応援寄附金を活用しています

寄附金は市内の学校で活用しています!

川崎市では、生まれ育った地域や愛着のある地域である「ふるさと」に対して、寄附金というかたちで応援していただく「川崎市ふるさと納税」の選択メニューとして「学校ふるさと応援寄附金」を設置しています。

寄附のお申出の際にご希望の学校を指定することができ、指定された各学校における課題の解決や独自の取組をより進めるために寄附金を活用しています。

令和元年度には、多くの方から合わせて約900万円の寄附が寄せられました。寄附金で楽器、スポーツ用具、実験用器具、花苗等を購入する等、各学校の学校生活に役立てられています。

これからもみなさまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせは 庶務課 ☎044-200-3262

ご案内HP QRコード



11月20日は「かわさき子どもの権利の日」!

みんなで守ろう、子どもの権利。

かわさき子どもの権利の日とは?

川崎市が全国に先駆けて「川崎市子どもの権利に関する条例(子どもの権利条例)」を、国連で定められた「子どもの権利条約」の理念を踏まえて平成12(2000)年に制定し、施行20周年を迎えます。11月20日を「かわさき子どもの権利の日」と条例で定め、子どもの権利週間に市立学校での「子どもの権利に関する週間」にあわせて学習の機会を持つなど、条例理解促進のための様々な取組をしています。この条例は、子どもが一人の人間として大切にされ、自分らしく生きられるようにつくれたものです。

※条例で定められた「川崎市子ども会議」に参加すると、意見や活動内容のまとめを市長に伝えることができます。



11月20日はかわさき子どもの権利の日

お問い合わせは こども未来局青少年支援室 ☎044-200-2344

子どもの権利 QRコード



子ども会議 QRコード



学校閉庁日(夏季)を実施します

働き方・仕事の進め方改革の1つとして取り組んでいる学校閉庁日について、今年度も夏休み中に、全ての市立学校で実施します。期間中は学校に教職員が不在となりますので、緊急の際は、以下の連絡先へご連絡ください。

●実施期間:8月11日(水)~13日(金)

連絡先: 川崎区 201-3325 幸区 511-7205 中原区 722-8095 高津区 861-5624
宮前区 888-4035 多摩区 935-3795 麻生区 951-1405 指導課 200-3290

お問い合わせは 教職員企画課 ☎044-200-2721

詳しくはこちら

